サステナビリティ・レポート

2006 日本版

P&G

環境保全・経済発展・社会への責任と還元に向けての取り組み

最高経営責任者からのごあいさつ

暮らし感じる、変えていく P&G
Touching lives,improving life. P&G

P&Gは創業以来、今年で169年を迎えました。当社が長年にわたり成長を続けてきた主な理由は、次の4つにあると考えております。まず、「人々の暮らしをよりよいものにする」という企業目的を基にビジネスを推進していること。つぎに、常に「変化と革新」を引き起こす努力を続けてきたこと。さらに、皆さまに長く愛されるブランドをいくつも創ってきたこと。そして、リーダーを育てる伝統を培ってきたことです。

これらの取り組みが、消費者の皆さまによりよい製品とサービスを提供し、信頼性のある優れた株主価値を生むことにつながっていると考えております。また、ビジネスの範囲を超えて社会に貢献することができるのも、このような活動の結果であると考えます。

社会への還元をどのような分野において行うかを決めることは容易なことではありません。私たちは、支援を必要としている人たちを支え、世界の持続的発展に貢献するために、当社のテクノロジーと人材、そして世界的に展開している事業規模をどのように活かすことができるのか、自問し続けてきました。

そして、当社の社会活動における主要な取り組みとして、健やかに成長するために支援を必要としている子どもたちの命を守り、教育の機会を与え、成長を支援するプログラム、「Live, Learn and Thrive」に注力することで、より効果的・持続的な貢献ができるという結論にいたりました。

その中心となる取り組みが、「安全な飲料水プログラム」です。現在、世界で毎日5千人以上の乳幼児や子どもが、安全でない飲料水が原因で命を落としています。私たちは、NGO、各国政府、企業などと協力して、P&Gが開発した浄水剤「PUR ピュリファイア・オブ・ウォーター」を、これらの国々に届けています。また、南アジアの津波の被災地やパキスタン大地震の被災地などの緊急事態に陥っている地域に、安全な飲料水を供給するための支援活動を、救援パートナーとともに行っています。

この製品を最も必要としている人たちのほとんどは、残念ながら製品を購入する経済力のない人たちです。この問題を解決するため、市場に対応した独自の流通モデルを構築して経済的な障壁を克服し、安全な飲料水の入手が急がれる地域へ製品を提供できるようになりました。このプログラムを開始してから現在までに、約5億リットルの飲料水用の「PUR」、5千万個を届けています。

今後も、このような企業家精神と協働の精神を持ちつづけ、サステナビリティの実現に尽力してまいります。このレポートで、この一年の成果をご紹介できることをうれしく思います。

A. G.ラフリー
取締役会会長
社長兼最高経営責任者

ビジョン

現在、そして来るべき世代のすべての人々にとって、よりよい暮らしを確かなものに

**Improving quality of life,
now and for generations to come**

前年は、私たちが続けている「経済発展」、「環境保全」、「社会への責任と還元」というサステナビリティの3つの柱に対する長期的な取り組みが進展していることを確認すると同時に、組織の「統合」と「移行」の年でもありました。

「統合」とは、P&Gとジレット社の統合のことです。これは、2つの革新的な企業がひとつになるという、非常に大きな出来事でした。両社ともに産業界で変革を起こしてきた歴史があり、サステナブル・ディベロップメント（持続可能な発展）におけるリーダー企業です。私たちは、これからもサステナビリティへの責任を果たすことに、引き続き尽力してまいります。

「移行」というのは、P&Gのフィランソロピーとサステナブル・ディベロップメントの推進組織をひとつにしたことです。これにより今後は、社会への責任と還元のための活動から、持続的発展への取り組みのなかにビジネスチャンスを見出していくことまで、サステナビリティに関する活動全般をひとつの組織が総合的に進めてまいります。

私たちの「安全な飲料水プログラム」の取り組みでは、10カ国にわたり、合計で約5億リットルに相当する安全な飲料水を提供することができました。災害地域に安全な飲料水を提供する支援活動は、当社が、NGOとパートナーシップを組んで、世界の貧しい地域に安全な飲料水を継続して提供できる独立採算のマーケティングモデルを構築することに大きく役立ちました。

P&Gにおける主要製品のひとつであるパンパースは、20年以上にわたり、サステナビリティへの責任を果たすことが、長期的なブランドエクイティの構築につながることを証明してきました。それは、新製品開発や製品改良を繰り返してきたということではなく、サステナビリティの3つの柱すべてを考慮し、働きかけてきたということです。パンパースは、環境への影響に配慮しながら、赤ちゃんとその世話をする人の暮らしをよりよいものにすることに貢献し、そして当社のなかで最もビジネスに貢献する最大のブランドに成長しました。

当社では、サステナビリティにおける責任を果たすため、新しい組織のもと、これまで以上に力を尽くしてまいります。

ピーター・ホワイト
ディレクター
グローバル・サステナビリティ担当

「グローバル・サステナビリティ・
フィランソロピー・レポート」

http://www.pg.com/company/
our_commitment/sustainability.jhtml

日本の経営責任者からのごあいさつ

皆さまへ

P&Gは、日本の消費者の皆さまの暮らしをよりよいものにするために役立つ製品をご提供することを企業方針として、日本における33年の歴史を歩んでまいりました。「現在、そして来るべき世代のすべての人々にとって、よりよい生活の質を確かなものにすること」— サステナビリティの定義として私どもが掲げるこの言葉は、まさに当社の企業方針と重なり合うものです。

前年は、当社の日本における活動の方向をさらに明確にした年でした。世界の先進国である日本も、女性の社会進出においては未だ取り組むべき課題があるという社会状況を考え、P&Gは、『女性の充実感あふれる、いきいきとした暮らし』をさらに力強く応援していく決意をいたしました。この決意のもと、製品の提供、情報やサービスの提供、そして社会貢献活動において、女性をサポートすることを目指します。

当社の製品には、清潔で安心な暮らしのための家事をサポートするもの、子育てや家族の暮らしに役立つもの、女性の美しさと輝きをお手伝いするものなどがあり、女性の日々の暮らしにおいて役立てていただいています。

また、女性のココロとカラダのサイクルを理解してより快適な生活を送っていただくための「ウィスパー ハッピーサイクル」による情報提供に加え、前年度、複数企業コラボレーション企画としてスタートした「womama〜ウーママ」プログラムでは、「ママが女性として輝くために、妊娠・子育てステージにいる女性をサポート」する情報やサービスをご提供できることになりました。

社会貢献活動では、以前より、「ダイバーシティ・多様性」についての当社の経験と知識を自治体や教育機関の男女共同参画のための活動にご提供してまいりました。そして前年度、女性支援のための社会貢献活動の柱としてNPO【仕事と子育て】カウンセリングセンターの設立を支援し、活動をスタートさせました。

「仕事と子育ての両立」は、日本ではまだ多くの女性にとって困難をともなうものです。その困難を解消するためには、「自分の生き方における価値観を確認し、働き方と子育てのさまざまな選択肢を理解すること」、「働き方と子育てについて、主体的に選択し、自分の『ビジョン』を持つこと」、そして、「選択した【仕事と子育て】を充実したものにするために十分な準備をすること」が大切であると考えます。これらの実現を目指して、【仕事と子育て】カウンセリングセンターへの支援を行ってまいります。

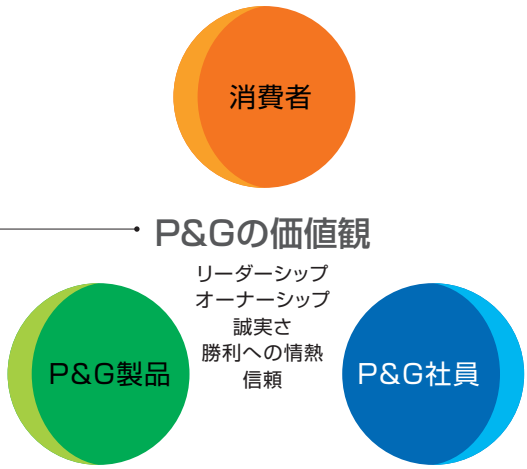
P&Gは、環境保全・経済発展・社会への責任と還元の3つの柱を包括するサステナビリティの考え方を尊重し、その活動を「サステナビリティ・レポート」としてご紹介しています。本年度のレポートも、皆さまに日本そして世界における当社のサステナビリティに対する取り組みをご理解いただく一助となるよう願っております。

プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社
代表取締役社長
ラヴィ・チャタベディ

すべてのP&G社員は、当社が掲げる「企業方針」を基に業務にあたっています。また、この「企業方針」を実現するために欠かせない「価値観」と「理念」をそれぞれ明確にし、全社員が共有しています。

企業方針（Purpose）

私たちは、世界の消費者の生活を向上させる、優れた品質と価値をもつP&Gブランドの製品とサービスを提供します。
その結果、消費者は私たちにトップクラスの売上と利益、価値の創造をもたらし、ひいては社員、株主、そして私たちがそこに住み働いている地域社会も繁栄することを可能にします。



価値観（Values）

P&Gは、社員とその生き方を導く価値観（バリュー）とからなります。私たちは、世界中で最も優秀な人材を引きつけ、採用します。私たちは、組織の構築を内部からの昇進によって行い、個々人の業績のみに基づき社員を昇進させ、報奨します。私たちは、社員が会社にとって最も重要な資産であるという信念に基づき、行動します。

理念（Principles）

以下は、私たちの企業方針および価値観から派生する理念です。

- ●私たちは、すべての個人を尊重します。
- ●会社と個人の利害は分かち難いものです。
- ●私たちは、戦略的に重要な仕事を重点的に行います。
- ●革新は、私たちの成功の礎です。
- ●私たちは、社外の状況を重視します。
- ●私たちは、個人の専門的能力に価値をおきます。
- ●私たちは、最高を目指します。
- ●相互協力を信条とします。

サステナビリティ・レポート2006

●編集方針

前年のレポートはP&G社員も含め、1万8千人の方に手にとっていただき、200人以上の方から読後の感想をお寄せいただきました。本年のレポートは、皆さまのご意見を心に留め、P&Gとその製品をもっと知りたいと思ってくださっている消費者の皆さまを対象とし、私たちのあり方や考え方を最近の具体的な取り組みとともによりわかりやすくご紹介することを目指して作成しました。お読みいただいた後には、ぜひアンケートにご記入いただき、皆さまの率直なご意見、ご感想をお聞かせください。

注）本レポートは、日本におけるP&Gの取り組みやデータの報告に、「P&G 2006 Sustainability Report(英語版フルレポート)」から抜粋した内容を加えて作成しています。

本レポートおよび、英語版フルレポートは、P&Gホームページからもご覧いただけます。 http://jp.pg.com/about/sustain.htm

●目次

最高経営責任者からのごあいさつ	1
ビジョン	2
日本の経営責任者からのごあいさつ	3
企業方針・価値観・理念、編集方針・目次	4
P&Gのサステナビリティ	5
事業活動を通じたサステナビリティ～企画・開発	9
～調達・生産	13
～流通	16
～製品使用	17
～リサイクル	19
P&Gの社会貢献	20
環境負荷データ/財務ハイライト	23

●対象範囲

日本のデータ: 日本のP&Gグループ
グローバルデータ: 世界のP&Gグループ

●対象期間

2005年7月1日～2006年6月30日
（活動内容についてはこれ以前、または直近のものも含みます）
※財務情報については、USドルで示されています。

●発行時期

前回報告書: 2005年10月
次回発行予定: 2007年10月

P&Gのサステナビリティ
Sustainability

「現在、そして来るべき世代の、すべての人々にとって、
よりよい暮らしを確かなものにすること」
それがP&Gの考えるサステナビリティです。

「サステナビリティ」とは、英語で、ずっと保ち続けていくことができるという意味です。
これをP&Gでは、「現在、そして来るべき世代のすべての人々にとって、よりよい暮らしを確かなものにすること」ととらえています。そして、これはまさに、「世界の消費者の生活を向上させる、優れた品質と価値をもつP&Gブランドの製品とサービスを提供する」という私たちの企業方針と重なり合うものです。

私たちは、消費者の皆さまが将来にわたって、快適に、充実感をもって生活できるように貢献していくことこそ、P&Gの企業方針を実現し、当社の持続的な成長を支えるものであると考えています。P&Gでは、サステナビリティの実現において、「環境保全」、「経済発展」、「社会への責任と還元」の3つの分野を柱に日々の取り組みを進めています。皆さまの生涯の暮らしを支える製品の提供、さまざまなステークホルダーとのかかわり、企業統治、製品開発から販売にわたる事業活動、社会貢献活動など、企業として行うあらゆる活動において、サステナビリティの実現に努めてまいります。

P&Gが目指すこと（企業方針より）

**私たちは、世界の消費者の生活を向上させる、優れた品質と価値をもつ
P&Gブランドの製品とサービスを提供します。**

サステナビリティの実現に不可欠な3つの柱

- 豊かな自然や水を守る
- 限られた資源を大切に使う
- 廃棄物・排出物を減らす

- 多くの人を雇用し、その人や家族の豊かな生活を支える
- 納税や寄付を通じて社会に還元する

- 健康で衛生的な生活ができるように、よい製品を生み出し、知識を広める
- すべての人が尊重され協力し合う社会を目指す

皆さまの毎日の暮らしとともにあるP&G製品

消費者の皆さまのご期待に応えるよりよい製品から、皆さまご自身では気づかなかったようなニーズを満たして暮らしを変える、革新的な製品やサービスまで、P&Gファミリーは、皆さまの暮らしのパートナーであり、生涯の友人、また家族の一員として愛され続けるブランドになることを目指しています。

日本のP&Gファミリー

ファブリック&ホームケア製品
アリエール、ボーナス（洗濯用洗剤）
ボールド（柔軟剤入り洗濯用洗剤）
レノア（柔軟仕上げ剤）
ルミネス（おしゃれ着洗剤）
ジョイ（台所用洗剤）
ハイウォッシュ ジョイ（食器洗い乾燥機用洗剤）
ファブリーズ（エアケア）

紙関連製品
パンパース（乳幼児用紙おむつ）
ウィスパー（生理用品）
アテント（大人用紙おむつ）

ヘアケア／ヘアカラー製品
ヴィダルサスーン、パンテーン、ハーバルエッセンス、
リジョイ（ヘアケア製品）

〈ウエラ製品〉
ウエラトーン ツープラスワン、カラーナチュラル、
ウエラトーン ハイテック（ヘアカラー製品）
ジェントルケア、クリニケア、リキッドヘア（ヘアケア製品）

化粧品
SK-Ⅱ、マックス ファクター、イリューム

薬用石けん
ミューズ

小型家電用品
ブラウン（電気シェーバー、ビューティーケア、ハウスホールド）
ブラウン オーラルB（電動歯ブラシ）
デュラセル（電池）

シェービング用品
ジレット

スナック
プリングルズ（ポテトチップス）

ペットフード
アイムス、ユーカヌバ

消費者の皆さまをはじめ、P&Gにかかわるすべての人々とともに信頼の輪を広げます。

P&Gは消費者の皆さまをはじめ、地域社会、取引先、社員など、私たちとかかわりのあるすべての人々（ステークホルダー）と、深い信頼関係を育んでまいりました。それぞれのステークホルダーを理解・尊重し、常に誠実な態度で責任を果たしていくことは、企業市民としての基本です。これからも、この信頼の輪をさらに多くの人々とつなげ、よりよい未来をともに創ることを目指します。

●P&Gをとりまくステークホルダー
（かかわりのあるすべての人々）

誰からも信頼される企業であり続けるために。P&Gは早くからコーポレート・ガバナンス（企業統治）体制を整えています。

P&Gのコーポレートガバナンス体制の基礎は、企業方針声明書にある「企業方針」「中核となる価値観」そして「理念」です。世界中のどの国や地域においても、またどのような仕事においても「常に正しいことを行うこと」「誠実であること」「個人を尊重すること」という創業当時からの精神は、現代まで脈々と受け継がれ、P&Gと社員の精神に深く刻み込まれています。今から100年以上前、P&Gでは社員が自社の株を持てる制度をつくりました。社員であると同時に会社のオーナーとして、自社に対して強い責任と自覚を持ってほしいと考えたからです。この「自らがリーダーであり、オーナーである」という社員一人ひとりの意識が、P&Gの強固なコーポレート・ガバナンス（企業統治）を支えています。

●P&Gのコーポレート・ガバナンス体制

社員に対する行動規範の徹底

誰からも信頼される企業であり続けるためには、社員一人ひとりが自らを律し、日々、良識ある行動を積み重ねることが基本です。P&Gでは、コンプライアンス（法の遵守）、情報の開示、公正な取引をはじめ、P&Gの中核となる価値観に基づき、重要なポリシーを「Our Values and Policies※（P&Gの価値観とポリシー）」としてまとめ、全社員に共有しています。また、全社員が守るべき行動規範「ワールドワイド・ビジネス・コンダクト・マニュアル」（写真）を制定し、全社員に徹底しています。

※Our Values and Policies
http://jp.pg.com/about/corp_gov.htm

コンプライアンス（法の遵守）

P&Gは法の遵守について、全社員に対して行動規範マニュアルにおいて厳しく定めています。事業を行うあらゆる国や地域において法律を遵守し、また、規制基準を満たす、あるいはそれを上回る厳しい基準を設け、責任を持ってビジネスを行います。

客観的かつ公正な監視ー取締役会

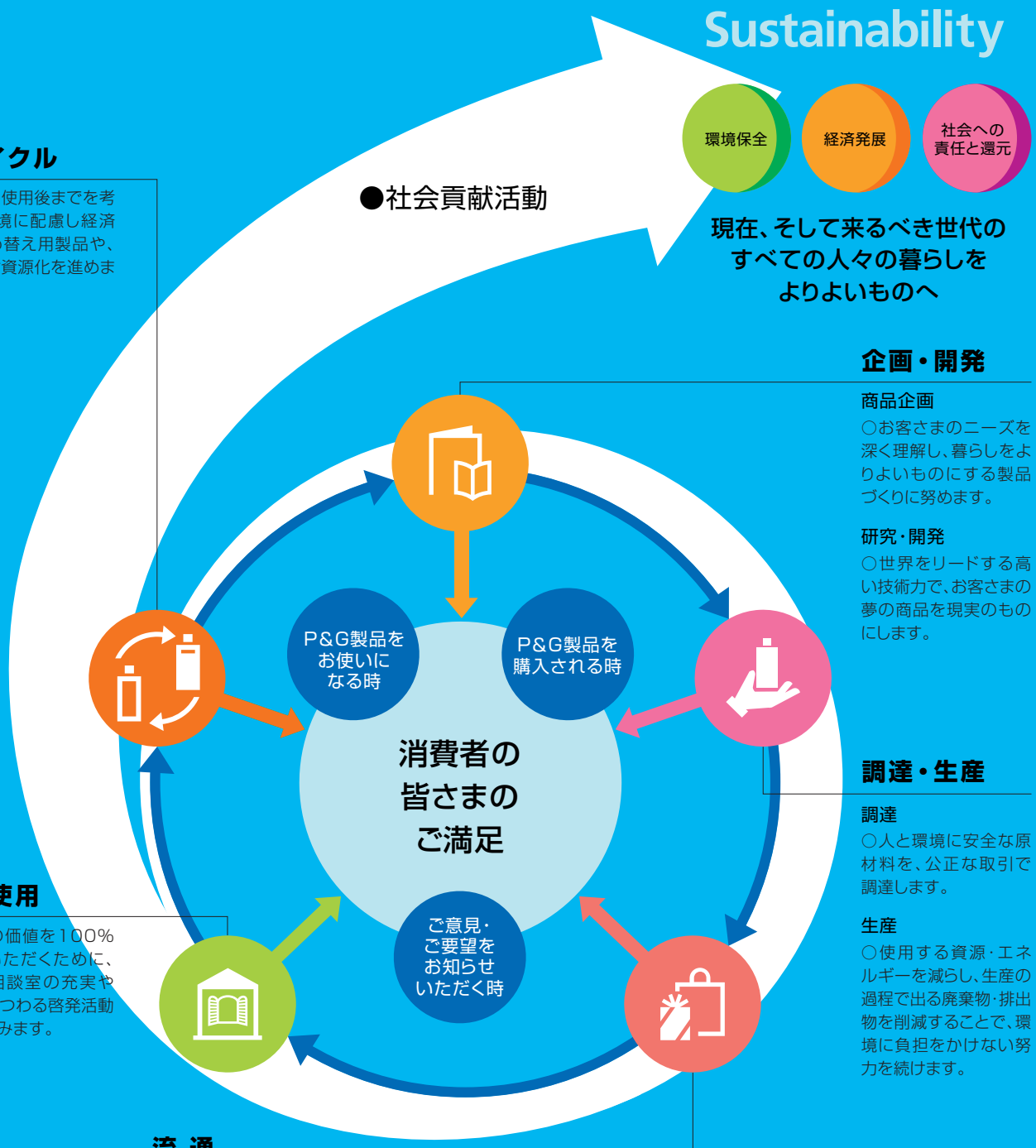
P&Gの取締役会は、大半を社外取締役が占めています。第三者が株主に代わってP&Gの企業運営を監視することで、経営陣が自らの利益のみを追求することのないようにしています。この役割を効率的に行うため、5つの委員会を設け、さらなる客観性・透明性の完遂を目指します。

取締役会の目的と果たすべき役割、役員の資質、構造、権限、手続きなどは、すべてコーポレート・ガバナンス・ガイドラインで明確に定義されています。

コーポレート・ガバナンス・ガイドライン（英語）
http://www.pg.com/company/our_commitment/corp_gov

P&Gは事業のあらゆる側面で、サステナビリティの実現を目指しています。

サステナビリティの実現、これは「限られた部署・社員だけが行う特別な仕事」ではありません。お客さまがP&Gと接するすべての場面（例えば、お客さまがP&G製品を購入されるとき、製品をお使いになるとき、そして製品に対するご意見・ご要望をいただくとき）において、ご満足いただけるよう努力を続けてまいりました。研究開発・商品企画・製造・販売をはじめ、それぞれの社員が担当する仕事を通じて、日々サステナビリティの実現を目指しています。



リサイクル

○製品の使用後までを考慮し、環境に配慮し経済的な詰め替え用製品や、容器の省資源化を進めます。

企画・開発

商品企画

○お客さまのニーズを深く理解し、暮らしをよりよいものにする製品づくりに努めます。

研究・開発

○世界をリードする高い技術力で、お客さまの夢の商品を現実のものにします。

調達・生産

調達

○人と環境に安全な原材料を、公正な取引で調達します。

生産

○使用する資源・エネルギーを減らし、生産の過程で出る廃棄物・排出物を削減することで、環境に負担をかけない努力を続けます。

製品使用

○製品の価値を100%感じていただくために、お客様相談室の充実や製品にまつわる啓発活動に取り組みます。

流 通

○取引先と一体となって、楽しく快適にお買い物できる環境づくりを進めます。

事業活動を通じたサステナビリティ

企画・開発

消費者の声を聞くことから、製品づくりははじまります。

徹底したお客さま理解で「喜び」と「驚き」を提供

優れた品質と価値を持つ製品とサービスを提供することで、人々の暮らしをよりよいものにする―企業方針にも掲げている私たちの使命です。お客さまのご意見やご要望、生活習慣、価値観までをもつぶさに観察し、深く理解することで、どのような製品が必要とされているのかを知り、時にはお客さまご自身も気づいていない暮らしの中の問題をすくい上げ、それを解決する製品づくりに努めています。お客さまから学んだことは、製品にとどまらず、パッケージやコマーシャルにも活かし、P&Gが発信した情報やメッセージがお客さまにどのように理解され、受け止められているのか、常にモニターしています。お客さまの喜びと驚きが、私たちのゴールです。

●当年度に発売した主な商品

消臭芳香剤
「置き型ファブリーズ」

おしゃれ着洗剤
「ルミネス」

世界のテクノロジーを日本のお客さまへ

P&Gは世界180カ国以上のお客さまに製品をお届けしています。日本をはじめそれぞれの国や地域のお客さまの価値観、習慣、文化や好みを深く理解した上で、"本当に望まれている"一歩進んだ製品づくりに努めています。製品開発には、世界的に展開している事業規模を活かし、研究開発への大規模な投資によって、世界でも最先端の技術と知識を応用しています。

●研究開発への投資

P&Gグループでは優れた製品とサービスをお届けするために充実した研究開発投資を行っています。（単位:百万ドル）

安全と品質に対するP&Gの考え方

品質の優れた商品をお客さまにお届けすることは、メーカーにとって基本的な責務です。お客さまの生活に深いかかわりのある製品を数多く提供しているP&Gでは、それに加えて、「人」と「環境」にとっての安全を製品のライフサイクル全体を通して確認しています。また、製品の持つ社会的・経済的側面にも配慮しています。

原材料一つひとつから事業全体まで

P&Gでは一つひとつの原材料および容器包装について安全性評価を行い、重ねてその複合体(組み合わせ)である製品本体についての安全性も確認しています。さらに、消費者の皆さまはもちろん、社員、工場の周囲の環境、消費者モニターの皆さま、そして使用後の製品を排水や廃棄物として受け取る環境に至るまで、製品にかかわると考えられる人々や環境すべてについて、安全性を広く確認しています。P&Gの安全性評価の大きな特長は、人と環境に加え、サステナビリティの要素として欠かせない社会的・経済的側面についても評価を行っていることです。製品開発や改良の際には、これらの観点から製品の価値を分析する「製品サステナビリティ・アセスメント・ツール」を活用しています。

さまざまな使用状況に備えた製品設計

P&Gの製品は、お客さまに正しく使っていただけるように最大限の注意を払っています。使い方がわかりやすい製品づくりや適切な使用法の表示に努め、製品が無駄になったり、安全性に問題が生じたりすることを未然に防いでいます。そのためにP&Gでは、①徹底した消費者テスト、②万一誤使用された場合にも安全性を保ち適切な対処ができるような原材料や成分への配慮、という2段階で製品の安全性を確保しています。

安全性評価にかかわるP&Gの組織

P&Gでは、全世界から集まる情報や知見を基にして、各国の法規制や生活文化を考慮した安全性評価を可能とする、網羅的な組織を構成しています。

●エクスターナル リレーションズ　学術渉外担当

社外との窓口として、日本における社外環境の変化を把握し、その見識を製品や事業活動に反映させています。同時に、社内の研究や情報分析から得た知見を、学会や工業会をはじめ、広く社外に公開することで、社会における安全性向上のお手伝いをしています。

●世界各地域における製品安全性および法規制担当

科学者と法規制の専門家を集めたこの組織では、世界各国におよぶネットワークをつくり、製品や事業活動における安全性の確保と法規制の遵守を確認しています。世界中で共通な事項と、国や地域によって異なる事項について横断的に検討することにより、バランスの取れた安全性評価が可能となります。

●健康・安全および環境担当

工場における生産活動は、エネルギー消費とCO_2排出、場合によって排水や廃棄物の排出を伴うため、これらについて安全性の確保に努めています。また、工場周辺や従業員の健康や安全に問題がないか確認を行っています。

コラム

誰にでも使いやすい製品をユニバーサルデザイン

年齢や性別、障がいの有無などあらゆる違いを超え、すべての人が暮らしやすい環境・社会・製品をつくる「ユニバーサルデザイン（UD）」。P&Gも、誰もが使いやすい製品づくりを目指しています。前年度は第3回ユニバーサルデザイン全国大会に参加。UDの考え方を取り入れたP&G製品やパッケージを、来場者の皆さんに実際に試していただきながら、当社の取り組みをご説明しました。

社員コラム

エクスターナル リレーションズ
学術渉外担当
加藤 俊則

「安全性」は毎日の積み重ねから

P&Gの製品は、数多くの原材料を混ぜ合わせたり組み合わせたりして作られています。製品の安全性を評価するためには、その原材料一つひとつを評価し、さらに製品の評価をしていかなければなりません。また、安全性を正確に評価するためには、人体や環境への影響の大きさと、人体や環境への曝露量（ばくろりょう:人に触れたり、環境に排出されたりする量）の両面から検討することが必要です。さらに、製品の性能の向上に役立つ成分だけを製品に採用することになります。法規制や社内外の安全基準に則していなければならないことは当然です。このように複雑な安全性評価や機能性の検討スクリーニングを経て設計された製品だけが、お客さまのお手元まで届くのです。安全性確認に省力化はありえません。これからも多くのプロセスを経て、安全で信頼できる品質の高い製品を社会に送り出してまいります。

事業活動を通じたサステナビリティ

企画・開発

暮らしを変える
優れた製品やサービスは、
社員一人ひとりが
最大限に力を発揮することに
よって誕生します。

「お金とビル、ブランドを取り上げられても、社員さえいれば、10年ですべてを元通りに再建できる」－1948年当時のP&G米国本社会長リチャード・R・デュプリーの言葉です。P&Gは古くから「人材こそが会社の最も大切な資産」と考え、社員が各自の力を最大限に発揮できる職場環境を実現するために多角的に取り組んでいます。職位、職責にかかわらず、すべての社員が自分の力を最大限に発揮するとき、消費者の皆さまに質の高い製品とサービスを提供できる、と私たちは信じています。

多様な人材を公平に採用

お客さまの多様なニーズに応えるためには、P&G自身も多様でなければならない、という考えから、性別、国籍をはじめとする個人が持つバックグラウンドを尊重し、多様な人材の採用に努めています。現在、社員の約半数が女性であり、また日本で働く社員の国籍は26カ国におよびます。

企業理念に基づく行動を徹底

「消費者の生活を向上させる、優れた品質と価値を持つ製品とサービスを提供する」という企業理念は、多様な社員たちが入社直後から共有し、社員一人ひとりのすべての活動の基礎になっています。どの部署で働く社員も「消費者がボス（Consumer is Boss）」をモットーに、消費者の皆さまに価値をもたらすかどうかを基準に、一つひとつの仕事をチェックしながら進めています。

個人の主体性を尊重したキャリア育成

社員がいきいきと力を発揮するためには、充実感が持てるやりがいのある業務、スキルを磨く機会、同僚や上司・部下が互いにオープンに学び合う職場環境、個人の強みを活かしたキャリア育成プラン、公正な評価、適切なワーク/ライフ・バランスなど、さまざまな要素が全体的に整うことが大切だとP&Gは考えています。

●キャリア育成プラン・成果に応じた評価

社員自身が自分の業績を確認し、今後の業務計画を立て、上司と話し合って合意する独自の手法を採用しています。将来のキャリアプラン、研修、育児、出産予定など、長期的な計画も相談できます。業績の確認にあたっては公正な評価を徹底するため、同僚、部下、プロジェクトメンバーなどから多角的にフィードバックをもらい、上司とじっくり話し合い、最終的にはさらに1職位上の上司も確認し、本人が納得した上で評価を受ける仕組みです。全世界共通の手法なので、異動や、国・地域を越えてキャリアを積む場合にも一貫してキャリアの育成を図ることができます。

●トレーニング（スキルの育成）

毎日の実務を通じての学習（OJT）、専門知識や技術を身につける部門別研修、すべての社員に共通して必要な能力を養う全社的な研修、各種の自主学習プログラムなど、多彩なメニューを組み合わせて活用し、主体的にスキルアップを図ることができる環境を整えています。また心身の健康（ウェルネス）のための研修も行っています。

個々の多様性（ダイバーシティ）を尊重し、強みを活かし合って、革新的なアイデアを生み出します。

多様性（ダイバーシティ）とは

ダイバーシティとは、性別、人種、民族、文化、個人の経験・技能、身体的特徴、年齢などや、それらから生じるスタイル・思考・価値観の「違い」です。身体的特徴のように目に見える違いもあれば、価値観や経験など目に見えない違いもあります。このような個々の「違い」を尊重し、足りない部分を補い合う姿勢を持つと、個々人の強みが十分に発揮され、同じ考え方の人たちだけでは思いつかないような革新的なアイデアが生まれます。P&Gでは、全社員がダイバーシティを尊重することの大切さを認識しながら、ビジネスに活用し、消費者の皆さまのニーズに合った製品やサービスをお届けできるように、開発・改善に努めています。

●ダイバーシティ・ネットワーク

P&Gには、性別、国籍、職種、役職など、さまざまな立場の社員が、互いの立場を理解し、助け合うことを目的とした社内組織「ダイバーシティ・ネットワーク」があります。最初は社員が自発的に立ち上げたネットワークでしたが、現在では社長がスポンサーとなり、会社と社員が一体となってダイバーシティ推進に向け、より中身の濃い活動を広げています。毎月開いている定例会議（写真）では、各部門から部署内のダイバーシティ推進に従事している社員や、個人的に関心の高い社員が自主的に参加し、成功事例・学びの共有や、トレーニングの開発、ダイバーシティフォーラム（右記）の開催企画など、職場でのダイバーシティ推進へ具体的な施策を打ち出しています。

●第3回ダイバーシティフォーラム開催

P&Gではダイバーシティ推進活動の一環として、毎年「ダイバーシティフォーラム」を開催しています。3回目を迎えた今年は、さまざまな職位・部門の社員に加え、自治体や学術分野で男女共同参画に携わる方々も一緒に、ダイバーシティの活用法、特に人生の節目における変化に対応するための秘訣を学びました。ラヴィ・チャタベディ社長が「P&Gがどのようにフレキシブルに社員のニーズに対応しているか」について語ったほか、部長級の日本人女性マネージャーによる「仕事と子育ての両立」に関する体験談、人事本部長による「人が変化に対応するための方法」についての講義があり、午後はテーマ毎に分かれて4つの分科会を開催しました。

●日本のP&G：女性社員の割合

2006年6月現在

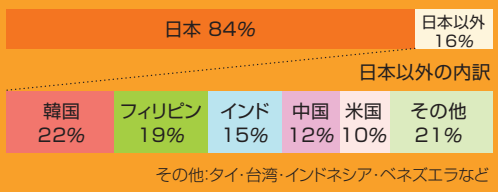
全従業員に占める女性社員	62%
総合職に占める女性社員	33%
部長相当職に占める女性社員	27%
役員相当職に占める女性社員	11%

●世界のP&G：少数民族（マイノリティ）・女性の割合

2006年

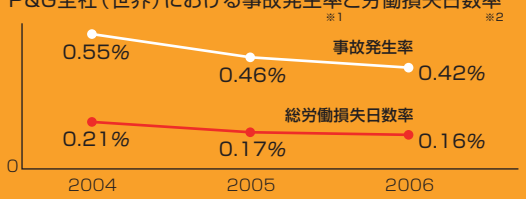
全世界における女性社員の割合	
総合職に占める女性社員	39%
総合職以外に占める女性社員	39%
米国における少数民族の社員の割合	
総合職に占める少数民族社員	21%
総合職以外に占める少数民族社員	19%

●日本のP&G：総合職の国籍



●労働安全性

P&G全社（世界）における事故発生率と労働損失日数率



※1　従業員100名当たりの労働災害および職業疾病の発生率
※2　従業員100名当たりの、労働災害、および職業疾病による労働損失日と労働制限日の発生率

事業活動を通じたサステナビリティ

調達・生産

自然環境に与える負荷が少ない モノづくりに取り組んでいます。

公平で公正な取引を徹底しています。

●サステナビリティの精神と調和した原材料調達

P&Gは取引先に対しても、法令を遵守し、高い倫理観に基づいた事業活動を求めています。これを明確な形で確認するツールとして、世界共通のガイドラインを定め、適切な取引関係を維持しています。

主な項目：法の遵守／人権の尊重／公正な雇用慣行（児童労働、雇用条件、賃金と労働時間、安全衛生、労働環境、プライバシー保護について）／取引先への公正で公平な対応（倫理的対応、贈答・接待に関する指針）

サプライヤー取引に関する
サステナビリティ・ガイドライン

コラム

農家の生活を守る フェアトレードコーヒー

コーヒーなどの栽培農家の中には、低い賃金で過酷な労働に携わる家庭も少なくありません。農家の生活を守り、質の高い作物づくりが続けられるよう、公正な価格での取引を保証する国際的な認証制度が「フェアトレード（公正貿易）認証」です。米国などで販売しているP&Gのコーヒー「ミルストーン マウンテン ムーンライト」は、このフェアトレード認証を受けています。品質の高いコーヒーをお客さまにお届けするとともに、栽培農家の生活向上に貢献しています。

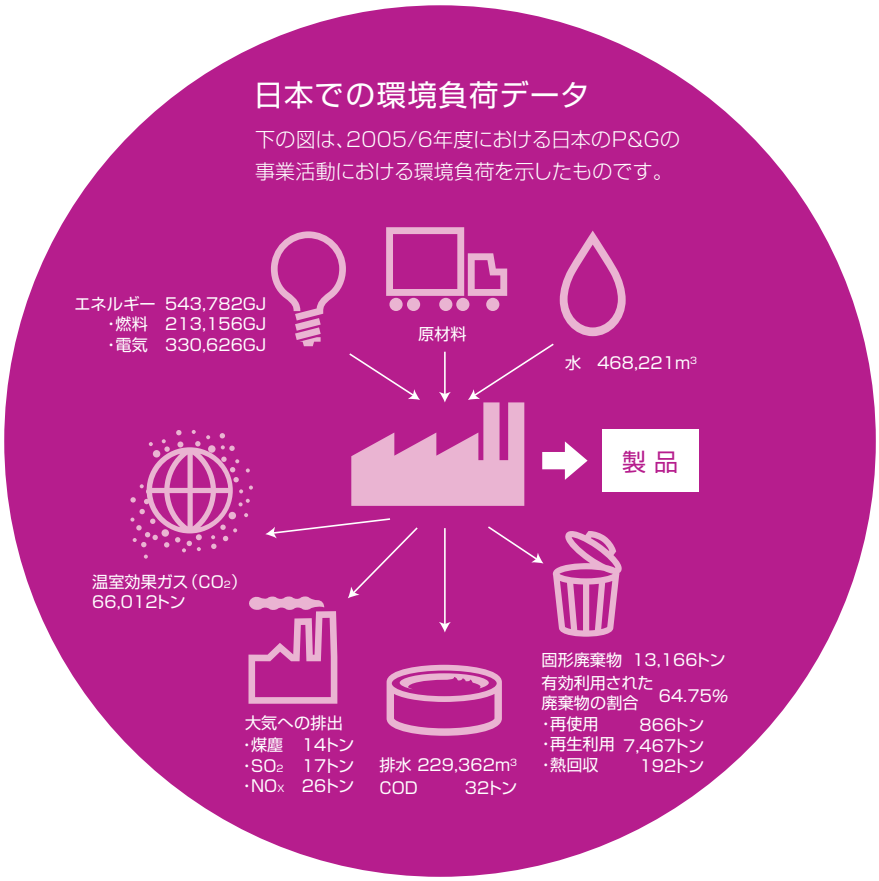
http://www.millstone.com

省資源・省エネルギー・廃棄物削減を進めています。

サステナビリティ実現に向けて、事業活動全体を通じて、使用するエネルギーや資源の節約をする一方、リサイクル率の向上などを通じて廃棄物の削減に積極的に取り組んでいます。

P&Gの環境方針

- ●当社の製品・容器包装・事業活動が、消費者、社員そして環境にとって安全であることを保証する。
- ●当社の製品および容器包装について、設計、製造、流通、使用、使用後の処理のすべてにおいて環境に与える影響を可能な限り削減する、またはゼロにする。
- ●環境にかかわるすべての法律および規制の要件を満たすか、またはそれを上回る。
- ●環境にかかわる当社のテクノロジーやプログラムを絶えず見直し、事業所ごとの環境目標に向けての進捗状況を監視する。
- ●P&Gの製品・容器包装・事業活動が環境に与える影響について、適切な事実に基づく情報を消費者、得意先、社員、地域社会、公共団体などに提供する。
- ●社員の一人ひとりが、日常の仕事の中に環境への配慮を織り込んでいくことを理解し、責任をもつように教育する。
- ●環境保全に関する方針を実行に移すため、適切な事業運営方針、プログラム、および財源をもつ。



環境マネジメントシステム

P&Gでは製造活動における環境影響を管理するため、ISO14001より厳しい要素を含んだ環境マネジメントシステムを運用しています。このシステムはISO14001と同じ意図をもち、ISOで求められる主要な5要素（環境方針、Plan、Do、Act、Check）を十分に満たしていることが第三者監査機関により確認されています。このような独自のシステムを運用する利点としては、①環境管理体制を事業の特性に合わせて最適化できる、②公的規格よりも厳しい基準を策定できる、③運用の自由度が高く、事業における革新性を不要に妨げない、という点があげられます。

このシステムを用いた環境管理は、排水、大気汚染、産業廃棄物、土壌・地下水汚染、振動・汚染などの主要な項目について測定し、各工場での環境影響を把握することが第1のステップとなります。次に、確認された環境影響を効率よく低減するために重要な項目について、定期的に内部および外部監査によって評価します。そして、一定期間に目標を達成するための行動計画を立て、実行していきます。

廃棄物の削減と地球温暖化の防止に重点的に取り組んでいます。

P&Gでは、生産工場における環境負荷の削減を重視しており、特に生産活動に伴って排出される、廃棄物とCO_2の削減に対して重点的に取り組んでいます。その例として、紙おむつや生理用品など、紙製品を製造している明石工場（兵庫県）の活動をご紹介します。明石工場では、不良となった製品や不要原材料のリサイクルに積極的に取り組んでおり、これらを再生処理業者に送り、ペット用トイレの砂、ペット用シート、ハンガー、プランターなどに再生する取り組みを続けています。また当年度には、焼却処分していた廃棄物を燃料（ゴミ固形化燃料）として有効利用した量を前年の3倍に増やし、2年前と比較すると焼却量を7分の1まで減らすことでCO_2削減に貢献しました。さらに同工場は、環境省の「温室効果ガスの自主削減目標設定にかかわる設備補助事業」対象事業者として採択されました。この事業は、地球温暖化を促進すると考えられている温室効果ガスの排出削減に自主的・積極的に取り組もうとする事業者に対し、排出削減を約束させる代わりに、CO_2排出抑制設備に対する補助金を交付する制度です。明石工場では、ファン、ポンプ、空調機などの電力依存型の機器に省エネシステムを導入し、電力消費量の削減を図っています。

事業活動を通じたサステナビリティ

調達・生産

工場での環境活動取り組み例

●明石工場（兵庫県明石市）

主な生産品目
紙おむつ
生理用品

環境担当
森　哲哉

明石工場では、原材料の梱包資材や製品にできなかった廃材の再利用あるいはリサイクルを続けており、リサイクル率は、前年同様96%以上を継続しています。再利用やリサイクルは、省資源に貢献すると同時にCO_2排出削減にも大きな効果があります。また、廃棄物を少しでもコンパクトにすることで、廃棄物の搬送回数を減らすことができ、トラックから排出されるCO_2削減の成果をあげています。私たちはこれからも環境に配慮した工場であり続けるために、工場内はもちろん、原材料メーカーやリサイクル業者とも積極的に連携し、継続的な改善に取り組んでいきます。

端材を工業用燃料として再生

●滋賀工場（滋賀県野洲市）

主な生産品目
化粧品

環境担当
小玉　安男

当工場では主に化粧品を製造しています。一つひとつの製品が小さく割れやすいため、以前は数本ずつ紙箱に小分けし、それをさらに段ボール箱に詰めて配送センターへ送っていましたが、現在では、何度でも使えるプラスチック製の通い箱（写真）に直接、製品を詰めて搬送し、紙箱や段ボール箱を省略することで省資源に努めています。また、省エネ活動としては、従業員が常時いないエリア（通路、更衣室など）に人感センサーを設置、ムダな電力消費を抑制しています。

●高崎工場（群馬県高崎市）

主な生産品目
衣料用洗剤
柔軟仕上げ剤
台所用洗剤
ホームケア製品

環境担当
杉山　訓生

高崎工場では継続的に省エネ推進に努めており、各種省エネ対策を実施することにより、生産量当たりのエネルギー使用量を対前年度で約21%削減しました。また社外でも、省エネルギーに関する事例発表を通じ情報提供を行うなど、社会全体での省エネ推進への貢献を目指しています。一方、CO_2削減対策として、対前年度の3倍以上に当たる約4,000m^2のグリーン駐車場を増設しました（写真）。植樹などの緑化を行ったほか、3R《リデュース（削減）、リユース（再利用）、リサイクル》活動にも力を入れ、生産量当たりの産業廃棄物発生量を対前年度比で22%削減しました。

●茨城工場（茨城県河内町）

主な生産品目
ヘアカラー
ヘアケア製品

環境担当
金山　基晴

茨城工場では、動力源としてLPガスと電力を使用しています。LPガスは発生カロリー当たりのCO_2排出量が重油やガソリンと比較して少なく、CO_2の排出抑制に寄与しています。さらに、エネルギーの効率的利用として、夜間の余剰電力で製氷した氷を、製造工程で使用する冷却水に利用しています。このことにより、エネルギーの使用が集中する昼間のエネルギー消費の削減が可能となり、結果的に省エネルギーおよびCO_2の削減につながっています。作業員の安全に最大限の配慮を行い、ボトリングの設備をすべてカバーで覆う工事が進められています。カバーを開くと動力が遮断されて設備が停止し、設備による人的な事故を防止します。

事業活動を通じた
サステナビリティ
流 通

お客さまに最高の価値をお届けするために取引先と密接な協力体制を築いています。

物流における環境負荷の低減

製品が国内外の工場で作られてからお客さまのお手元に届くまでの間には必ず輸送というプロセスが含まれます。トラック、貨物列車、船、飛行機などにより、製品を工場から倉庫、販売店まで運ぶには、ガソリンなどのエネルギーを消費し、それに応じた量のCO_2を排出することになります。輸送を効率化することは、①エネルギーの消費を抑えCO_2の排出を減らす、②交通量を減少させる、③製品のコストを抑える、など数々の利点があり、これらはサステナビリティの3要素（環境、社会、経済）と一致しています。P&Gは、日用雑貨製品の輸送において、弊社顧客との取引制度の中に効率的な輸送を促進させるためのプログラムを導入することにより、サステナビリティの実現に向け積極的に取り組んでいます。

流通プロセス全体をより効率的に

楽しく便利なお買い物環境の創造

店頭は、お客さまとP&G製品との最初の出会いの場です。その出会いにご満足いただくために、企業の枠を越え、小売・流通パートナーと密接に協力しています。例えば店頭でのお客さまニーズの共同調査、店頭イベント、売り場づくりのご提案、化粧品のカウンセリングなど、お買い物がより楽しく、価値ある時間となるような店頭環境をパートナーとともに創造しています。
一方、お客さまがほしいときに、ほしい製品を、適正な価格で購入できるようにするためには、原材料の調達＞製造＞流通＞店頭での販売という一連の流れ（サプライチェーン）がスムーズである必要があります。P&Gでは原材料メーカーや小売・流通パートナーとともに、サプライチェーン全体の最適化を進めています。

サプライチェーン全体から、非効率な活動をなくす

需要に対応した、スピーディーかつスムーズな製品供給システム
店頭での購買情報を、原材料調達にまでさかのぼって、
タイムリーかつ正確にフィードバック

事業活動を通じたサステナビリティ
製品使用

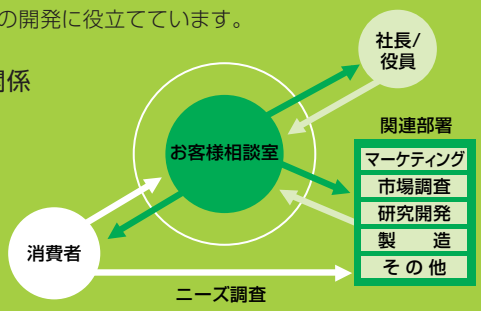
製品を満足してお使いいただけるよう迅速で真摯な対応を。

お客様相談室

「お客様相談室」は私たちにとって、消費者の皆さまと直接お話ができる大切な場所です。P&Gは日本で営業を開始した当初から「お客様相談室」を設置し、1986年にはお客さまに気軽にご意見を寄せていただけるよう同業他社に先駆けて通話料無料ダイヤルを導入しました。現在お客さまから寄せられるご意見・ご要望は年間で約11万件。その1件1件に対して、「P&Gに電話をしてよかった」とご満足いただけるよう、専門スタッフが迅速で真摯な対応を常に心がけています。一方、お寄せいただいたご意見・ご要望は、お客さまにご満足いただける製品づくりには欠かせない貴重な財産です。個人情報を除いて社内の関連部署に必ずフィードバックし、製品・サービス・テレビCMなどの広告の改善や、新製品の開発に役立てています。

●消費者・お客様相談室・関連部署の関係

・お客様相談室で受信したコメントは、
　各部署に直接レポート、日常的に情報交換
・特に重要かつ緊急なコメントは即座に
　社長および経営陣にレポート



個人情報の保護

お客様相談室やホームページに寄せられるご要望やご質問にお答えしたり、メールマガジンをお送りするとき、ご連絡先などの個人情報をお預かりすることがあります。P&Gでは、このようなプライバシーにかかわる情報は、お客さまの同意のもと厳重に管理し、事前に了承をいただくことなく承諾いただいた目的以外に利用しません。個人情報の管理にあたっては、複数の部署からなる委員会を設置するとともに、法令・社会規範・業界のガイドラインに基づく全社共通のプライバシーガイドラインを設け、全社員に徹底しています。

より豊かに、より満足して製品をお使いいただくために

ママが女性として輝くために6社から製品・サービス・情報を提供

妊娠・子育てステージにある女性に“ママ”として、同時に“女性”としても輝き続けていただけるように、製品・情報提供・サービスを通じて応援する「womama（ウーママ）」プログラムを、大塚製薬、JTB、JCB、日比谷花壇、TOHOシネマズと共同で立ち上げました。ママになって大きく役割や身体が変化することにとまどう女性たちを、ビューティーケア、ヘルスケア、ライフ、チャイルドケアの4つの分野でサポートしています。複数企業コラボレーションならではの、幅広い活動展開に注目が集まっています。

＜womamaプログラム展開例＞

●ホームページ「womama.jp」

ママが女性としても輝くために役立つ情報や、ママ同士で悩みや情報交換できる場を提供。

http://www.womama.jp/

●店頭展開（P&G、大塚製薬）

店頭でママに役立つ製品（パンテーン、ウィスパー、ミューズ、パンパース、イリューム、ネイチャーメイドなど）を集めたwomamaコーナーを共同展開。

●womamaレストラン（JTB）

お子さま連れでも気兼ねなく、一流ホテルで優雅なディナーが楽しめる「womamaレストラン」（開催日限定）を開催。

●womama母の日ブーケ（日比谷花壇、P&G）

母の日に合わせwomamaオリジナルブーケを販売。

サステナビリティの大切さを発信

サステナビリティを実現するためには、あらゆる立場の人々の協力が必要です。P&Gでは消費者の皆さまにもサステナビリティの大切さを伝え、改めて考えていただく機会を、さまざまな形で提供しています。ホームページで「親子で学ぼう!サステナビリティ講座」を連載しているほか、P&Gの活動実績をご紹介するサステナビリティレポート（当誌）などの発行を続けています。

「親子で学ぼう!サステナビリティ講座」
http://jp.pg.com/about/sus_kouza/

ビジネスの中で得た知識やデータを広く社会へ提供

P&Gでは、ビジネスの中で得たさまざまな知識やデータを、よりよい製品づくりに活かすだけでなく、広く社会へも発信し役立てていただいています。

●ウィスパーハッピーサイクル研究所

ウィスパーは、女性の1カ月のサイクルを「ハッピーサイクル」と名づけ、月経を前向きにとらえ快適に過ごすためのココロとカラダの新しい付き合い方を提案しています。同研究所では、月経周期を4つに分けた各時期のココロとカラダの状態を分析し、女性がそれらを正しく理解して、各時期を充実して過ごすための情報を、ウェブサイトやメディアを通して発信しています。

http://www.happywhisper.com/

●P&G清潔生活研究所

今年設立した同研究所は、消費者の皆さまに清潔で気持ちのいい毎日を送っていただけるよう、「清潔生活」分野におけるエキスパートとして得た知識を広く社会に発信しています。特に「除菌衛生」「ニオイのマネジメント」の領域で、当社ならではの世界的なネットワークと消費者理解力を活用し、日本のお客さまに役立つ活動を進めています。

●パンパース赤ちゃん研究所

赤ちゃんの成長や育児に関する実態をさまざまな視点で調査・分析し、赤ちゃんの成長をサポートする製品づくりに活かすほか、子育て情報を切実に求めている保護者の皆さまに向けて発信しています。当年度はトイレトレーニングに関するお母さんたちの意識を調査し、国際比較を行いました。

コラム

薬用石けん ミューズ のびのび体験幼稚園

©あんふぁん

子どもたちに自然に触れ、さまざまな体験を通じて元気に成長してほしいという願いから、ミューズは「のびのび体験幼稚園」プログラムを続けています。当年度は「ウィンターフェスティバル　雪と遊ぼう!」を主催。雪遊びの場を人工降雪機でつくり、体験幼稚園に認定された幼稚園から応募した子どもたちが、かまくらや雪ゾリといった普段体験することのない雪遊びを楽しみました。

事業活動を通じたサステナビリティ

リサイクル

次世代の暮らしを見据えたリサイクルや製品づくりを行っています。

空になった容器や、排水とともに流れる洗剤・シャンプーなど、ご使用後の製品や容器包装が環境に与える影響を最小限にとどめるよう、不断の努力を続けています。

容器削減への改善例

容器包装廃棄物の削減を目指し、プラスチック製容器を使用している多くの製品で詰め替え用製品を販売しています。容器が再利用できるので、ゴミの発生量を大幅に削減することができます。また、詰め替え用製品に使われるフィルム状の容器は、使用後は小さく丸めて捨てることができるので、ゴミの容積を減らすという点からも大きなメリットがあります。当社製洗濯用液体洗剤の場合、容器のゴミを重量で約80%、容積で90%以上減らすことができます。

ライフサイクルアセスメント（LCA）

P&Gは産業界に先駆けてLCAによる商品の評価を実施してきました。LCAとは、製品の“ゆりかごから墓場まで”というライフサイクル全体に対して、環境負荷がどの程度あるのかを評価する仕組みのことです。非常に複雑な評価方法ではありますが、製品や企業活動が内包する真の環境負荷を評価するためにはとても優れた方法とされ、日本でも多くの企業に取り入れられつつあります。P&Gのパンパースは紙おむつを一般に広く普及させる大きな推進力となった製品ですが、その黎明期である、紙おむつが普及しはじめた1980年代に、P&Gは早くもLCAを取り入れ、LCAの非常にわかりやすい事例として紙おむつと布おむつの比較評価を行いました。そして、両者にはほとんど環境負荷に差がないという結果が出ています。現在も、洗剤の濃縮化が製品の環境負荷を改善する仕組みについて、LCAを用いて分析を行っています。

水環境への取り組み

社員コラム

エクスターナル リレーションズ
スペシャリスト
山本 昭子

「多摩川モデル」で川の化学物質濃度を把握

シャンプーや洗剤などに含まれる成分の中には、製品の使用後に家庭排水として排出されるものがあります。排出された成分は下水処理や河川中の微生物の分解などにより、環境に影響を与えない濃度まで低下していきます。P&Gは、環境中でどのように成分が分解されていくかを予測するためのシミュレーションシステムとして、「多摩川モデル」を開発しました。日本の代表的河川である多摩川の地形や環境がデータとして入力してあり、多摩川を流れる過程で製品の成分濃度がどのように変化するかを計算して予測することができます。つまり、多摩川の流域の人口や、どこにどのような規模の下水処理場があるかなどがデータとしてモデル上に再現されています。多摩川モデルを用いたシミュレーション結果を環境中での実測値と組み合わせて分析することにより、さらに正確な濃度予測を行うことが可能となります。P&Gは、このような方法で使用後の製品が環境中で安全に分解されていくことを確認しています。

P&Gの社会貢献

世界の人々とともに生きる企業市民として、よりよい社会の実現へ貢献したいと考えています。

企業もまた、皆さまと同じ地球に住み暮らすコミュニティの一員です。P&Gは、企業市民として社会に貢献することを責務と考え、さまざまな活動を行っています。女性のいきいきとした暮らしを応援する「女性支援」を中心に、子どもたちの健やかな成長を応援する「子ども支援」、「地域支援」、「災害支援」を4つの柱として、現代を生きる私たち、そして未来の子どもたちへ、豊かな社会をつくるために貢献しています。

事業を越えて持続可能な発展へ

女性支援 ●女性がいきいきと活躍できる社会を目指して

地域支援 ●私たちが住み暮らす地域とともに発展を

子供支援 ●次世代を担う子供たちの健康と成長のために

災害支援 ●災害でお困りの方々を支援

女性支援　女性がいきいきと活躍できる社会を目指して

きっと、もっと輝く私。

女性の充実感あふれる、いきいきとした暮らしをP&Gは応援します

この世に生まれ学び育つとき、子どもから大人の女性へと変わるとき、社会人として自立するとき、はじめてお母さんになったとき、そして年をかさね新しく充実した生活をはじめるとき。その人、その時々によって、暮らし方も夢もさまざまです。P&Gでは、すべての女性、そしてさまざまな人生のステージにある女性に、充実感あふれる、いきいきとした毎日を過ごしていただけるように、よりよい「製品」、役立つ「情報・サービスの提供」および「社会貢献活動」の3つを通して応援してまいりました。2006年より新たに「きっと、もっと輝く私。」というスローガンを採用し、女性支援にさらに力を入れてまいります。

「きっと、もっと輝く私。」サイト
http://jp.pg.com/kagayaku/

P&Gの社会貢献

女性支援　女性がいきいきと活躍できる社会を目指して

NPO【仕事と子育て】カウンセリングセンターを全面支援

「きっと、もっと輝く私。」をスローガンとする女性応援活動の中で、社会貢献活動の柱となるプログラムが、NPO【仕事と子育て】カウンセリングセンターの設立・運営支援です。出産後も働き続ける女性が増え、今、多くの家庭で「仕事と子育ての両立」が大きな課題となっています。今年4月に発足した同センターでは、各界の専門家の方々のご協力を得て、女性自身とそのパートナーが、「自分の生き方における価値観を確認し、働き方と子育てについての選択肢を理解すること」、「働き方と子育てについて、自分の価値観に基づいて主体的に選択し、自分の『ビジョン』を持つこと」、「選択した【仕事と子育て】を充実したものにするための十分な環境づくりと気持ちの準備」を支援していきます。「仕事と子育ての両立」という、女性が直面する社会的課題に取り組むことによって、「女性の充実感あふれる、いきいきとした暮らし」を応援します。

「NPO【仕事と子育て】カウンセリングセンター
http://www.shigoto-kosodate.net/

男女共同参画社会へ兵庫県がつくる研修マニュアルに協力

兵庫県が、男女が共に活躍する職場づくりの推進を目的として、平成17年度に実施した「企業内研修担当者マニュアル」改訂事業に、P&Gも参画しました。この事業は、地域内の企業における男女共同参画促進のための教育で活用してもらうことを目的に、兵庫県立男女共同参画センターが作成した研修マニュアルを、県下の行政・企業・労働者・大学からなる合同チームで、より活用しやすく実用的な教材へ改訂するというものでした。社員の多様な個性を活かすダイバーシティを経営戦略のひとつとして位置づけているP&Gは、その経験と学びを基に改訂に協力しました。

産科婦人科学会・産婦人科医会と協力し女性の健康を支援

日本産科婦人科学会と日本産婦人科医会は、女性が自分の身体について正しい知識と関心をもち、産婦人科を上手に活用できるよう啓発活動を行っています。女性のココロとカラダの健康を大切に考えるP&Gの生理用品ブランド「ウィスパー」では、これらの活動に協賛を続けています。セミナー開催や共同調査のほか、今年度は女性特有の不調・悩み対処法や毎日をハッピーに過ごす知恵などを一冊の本にまとめた「美人のハッピーサイクル」（小学館）を発行しました。

「美人のハッピーサイクル」気づいた人から
キレイになれる、女のコのカラダの法則

編著：ウィスパーハッピーサイクル研究所
協力：「女性の健康週間委員会」
（〈社〉日本産科婦人科学会・〈社〉日本産婦人科医会）

地域支援　地域とともに発展し続けるために

神戸まちづくり六甲アイランド基金

兵庫県神戸市に日本本社をおくP&Gは、1996年に積水ハウス株式会社と共同で「公益信託神戸まちづくり六甲アイランド基金」を設立し、神戸市における国際的かつ文化的なコミュニティづくりへの助成を続けています。助成金は、新しく日本に来られた外国人への生活情報提供、地域の皆さまとの交流イベント、日本の書籍のほか外国の書籍もそろえた地域図書館の運営などの「国際コミュニティづくり事業」や、緑化事業などの「文化的な都市環境づくり事業」に役立てられています。同基金の助成件数は2005年度までの10年間でのべ235件、助成金の合計は約2億円になりました。P&Gはコミュニティの一員として、これからも地域貢献を進めてまいります。

子供支援　次世代を担う子どもたちの健康と成長のために

健康教育推進学校表彰を応援

P&Gでは、財団法人　日本学校保健会が主催する「21世紀　新しい時代の健康教育推進学校表彰」に第1回から協賛を続けています。この制度は、学校保健活動に積極的に取り組み、顕著な成果をあげている学校を表彰するもので、第4回目を迎えた今年は、全国で82校が表彰されました。

P&Gは、毎日の暮らしに接する製品とサービスを提供する企業として、子どもたちの健康を願い、これからも健康教育活動の推進に向けて協力してまいります。

コラム　PUR:きれいな飲み水を世界の子どもたちに

P&Gでは、世界各国で支援を必要とする子どもたちを支えるプログラムを展開しており、その主な取り組みとして「子どもたちのための安全な飲料水プログラム」を進めています。
世界では、毎日5,000人の子どもたちが、安全でない飲料水による下痢疾患で命を落としています。そこでP&Gでは、米国疾病対策予防センターの協力を得て、汚染された飲料水でも、安価で浄化できる浄水剤「PUR※」を開発し、このような地域にある学校などを通じて提供するとともに、安全な飲み水の重要性の啓発活動を行っています。前年秋のパキスタン地震では、ユニセフ（国連児童基金）と協力して、約1億リットルの飲料水用のPURをお届けするなど、災害被災地でもPURは役立っています。

※「PUR ピュリファイア・オブ・ウォーター」
粉末の浄水剤

災害支援　災害でお困りの方々の手助けを

世界災害語り継ぎネットワークへ寄付

将来起こりうる災害で被災者を少しでも減らすことを目的に、世界中の活動や人を結び災害の体験や教訓を広く伝え合う「世界災害語り継ぎネットワーク（通称:TeLL-Net）」が発足。P&Gは、設立時の調査研究・諸活動に対し総額500万円を寄付しました。P&Gでは、国内外での災害発生時に支援物資や義援金による災害支援を続けており、今回の寄付もP&Gの地域貢献プログラム「サステナビリティプログラム」の一環として行いました。

環境負荷データ

日本における主な工場の環境負荷データ（2005/06年度）

		単位	明石工場	滋賀工場	高崎工場	茨城工場	工場合計
エネルギー使用量	**合　計**	**GJ**	**212,136**	**73,676**	**245,769**	**12,201**	**543,782**
	燃料	GJ	0	45,870	167,273	13	213,156
	電気	GJ	212,136	27,806	78,496	12,188	330,626
水使用量	**合　計**	**m^3**	**105,866**	**153,483**	**189,948**	**18,924**	**468,221**
排水※1	**合　計**	**m^3**	**46,685**	**55,571**	**111,730**	**15,376**	**229,362**
	公共用水域への排水	m^3	-	19,403	-	15,376	34,779
	下水道への排水	m^3	46,685	36,168	111,730	0	194,583
	COD	トン	4	3	25	0	32
固形廃棄物	**合　計**	**トン**	**7,052**	**702**	**3,861**	**1,552**	**13,166**
	再使用	トン	47	30	790	0	866
	再生利用	トン	6,717	236	96	418	7,467
	熱回収	トン	0	164	27	0	192
	単純焼却	トン	288	114	2,879	986	4,267
	その他（中和/埋め立て）	トン	0	158	68	148	374
大気への排出※2	煤塵	トン	0	0	13	0	14
	CO_2※3	トン	23,709	7,716	32,706	1,880	66,012
	SO_2	トン	0	1	17	0	17
	NO_x	トン	0	1	24	1	26
	CO	トン	0	1	24	9	34
	VOC	トン	0	0	409	0	409

※1　（滋賀工場、茨城工場）工場排水は、工場の排水処理施設で処理され、公共用水域に排出されます。排水処理施設からの排水は、水質汚濁防止法の基準を満たしていることを測定により確認しています。なお、滋賀工場では2006年1月から排水を公共下水道に排出しています。
（明石工場、滋賀工場、高崎工場）工場排水は公共下水道に排出され、下水処理場で処理されます。下水処理場の処理に悪影響を与えないよう、工場排水は測定に基づき管理されています。
※2　4工場すべて、大気汚染防止法の基準を満たしていることを測定により確認しています。
※3　CO_2排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）に基づき、当年度より燃料から発生するCO_2に加えて、電気の使用によるCO_2排出量も加算しています。

明石工場（兵庫県明石市）

主な生産品目
紙おむつ
生理用品

高崎工場（群馬県高崎市）

主な生産品目
衣料用洗剤
柔軟仕上げ剤
台所用洗剤
ホームケア製品

滋賀工場（滋賀県野洲市）

主な生産品目
化粧品

茨城工場（茨城県河内町）

主な生産品目
ヘアカラー
ヘアケア製品

※当年度から、茨城工場を報告範囲に加えました。

PRTR法対象物質の排出・移動量（2005年4月-2006年3月度/4工場合計）

単位はダイオキシン類以外はトン／年

		排出量			移動量	
政令番号	**化学物質名**	**大気**	**公共用水域**	**土壌**	**下水道※1**	**廃棄物※2**
16	2-アミノエタノール	0.4	<0.1	0	1.8	4.0
21	m-アミノフェノール	0	<0.1	0	0	<0.1
24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム	0	0	0	2.9	6.8
166	N,N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシド	<0.1	0	0	2.1	24.7
304	ほう素およびその化合物	0	0	0	0.2	0.2
307	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル	0	<0.1	0	6.2	28.3
179	ダイオキシン類（mg-TEQ）	3.9	0	0	0	0.4※3

※1　下水処理場で分解や吸着により大部分除去された後、公共用水域に排出されます。
※2　産業廃棄物処理業者にて適正に処理されています。
※3　焼却灰を管理型埋め立て地にて最終処分しています。

全世界での環境負荷データ

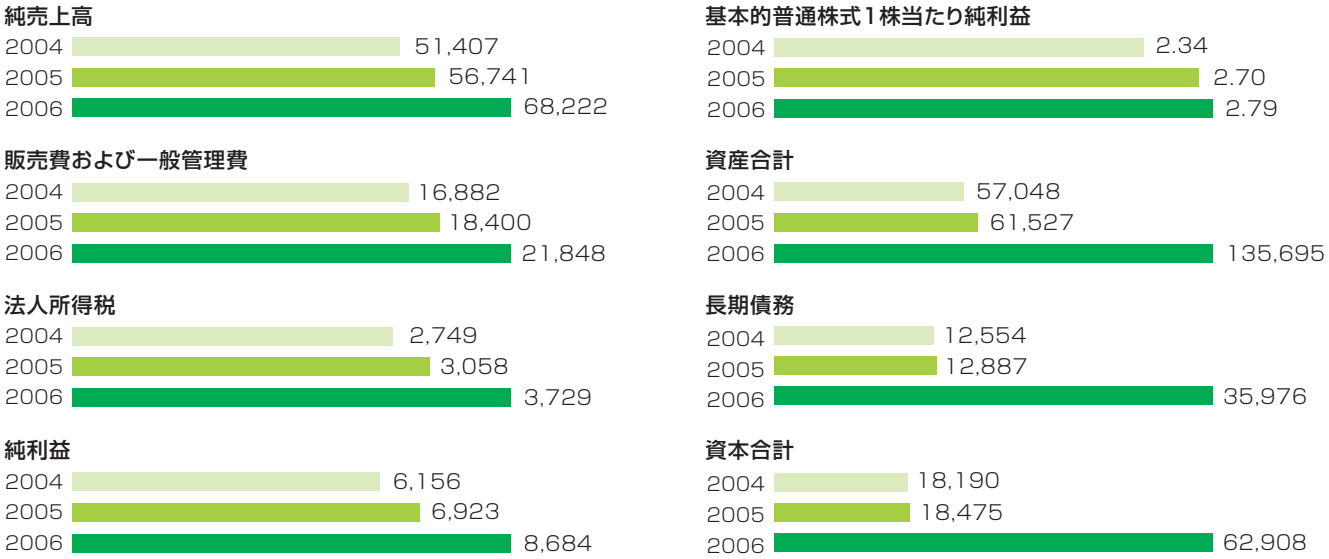
P&G全社レベルでの製品の製造過程における資源の消費量や廃棄物の排出量を測定したものです。

単位:注記しているもの以外は千トン	2006	2005	2004	2006年度カテゴリー別詳細 ビューティー&ヘルス	ハウスホールドケア	ジレット※4
生産						
製品出荷量	21,134	19,580	18,471	3,911	16,701	522
リサイクル原料の使用量	65	71	102	0	65	0
廃棄物						
総廃棄物量	873	831	817	218	622	34
リサイクルまたは再使用された廃棄物の割合	60%	58%	56%	54%	62%	73%
廃棄処分						
固形廃棄物						
非有害物質	289	280	300	89.6	191.2	8.0
有害物質	19	22	21	4.4	13.8	1.2
水分を除いた水系への廃棄物	24	22	21	5.6	18.1	0.1
大気への排出物※1	16	26	16	0.8	14.6	0.1
その他						
エネルギー消費量（10^5GJ）※2	769	745	731	92	627	50
温室効果ガス排出量※1	2,889	3,013	2,937	279	2,468	141
水消費量（百万m^3）	80	83	79	7.9	70.8	1.5
SARA排出量（トン）※3	2,146	1,722	1,843	481	1,187	479

※1　大気への排出物には、煤塵、SO_2、NOx、CO、VOCが含まれ、温室効果ガスには燃料の燃焼から発生するCO_2が含まれます。
※2　エネルギーの消費量2005年データは、前年度のレポート内容に誤りがあったため修正したものです。
※3　米国環境保護庁がスーパーファンド修正および再授権法で規定している排出物。
※4　ジレットのデータは、2006年度の合計データにのみ含まれており、2004年、2005年度の合計データには含まれておりません。

財務ハイライト

単位:百万ドル（ただし1株当たりの数値はドル）



P&Gの2006年度版サステナビリティ・レポートをお読みいただき、ありがとうございました。

毎年発行するこのレポートは、
当社の活動状況を公開するだけでなく、
P&Gに対する皆さまのお考えを
うかがう大切な機会と考えております。
いただいたご意見は、今後のP&Gの
活動やレポート作成に活かしてまいります。
裏面のアンケートにご記入いただき、
ファックスで弊社までお送りください。

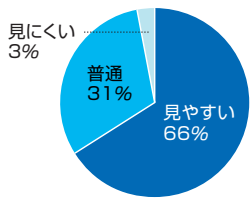
ご意見をお送りいただいた方の中から
抽選で、合計50名様に
P&G製品を進呈いたします。

前年のサステナビリティ・レポートのアンケート結果をご報告します。

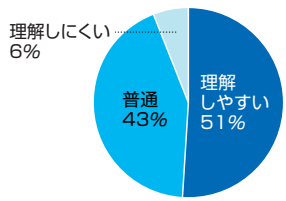
「2005年度サステナビリティ・レポート」には200名以上の方からアンケートを返送いただきました。

レポートについてどのようにお感じになりましたか？

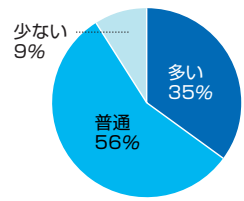
レイアウト



理解しやすさ



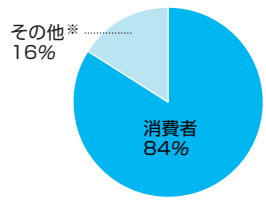
情報量



レポートの中で興味を持たれた項目はどれですか？（回答数）

最高経営責任者からのごあいさつ（43）
ビジョン（36）
日本の経営責任者からのごあいさつ（9）
企業方針・価値観・理念・編集方針（41）
P&Gのサステナビリティ（101）
企画・開発（81）　調達・生産（49）
流通（22）
使用・リサイクル（122）
P&Gの社会貢献（106）
環境負荷データ/財務ハイライト（33）

どのような立場でお読みになりましたか？



※販売流通関係、サプライヤー、NPO、行政関係、研究関係、CSR/環境担当、社員、学生ほか

皆さまからの貴重なご意見を参考に、2006年度版サステナビリティ・レポートでは、
P&Gとその製品をもっと知りたいと思ってくださっている消費者の皆さまを対象に、
私たちのあり方や考え方を最近の具体的な取り組みとともに、よりわかりやすくご紹介することを目指しました。

P&G

P&G

P&G2006年度版サステナビリティ・レポートへのご意見・ご感想をお寄せください。

● 本レポートをどのように入手されましたか？

- ☐ 雑誌を見て請求（雑誌名:　　）
- ☐ 新聞を見て請求（新聞名:　　）
- ☐ P&Gのホームページを見て請求
- ☐ お客様相談室から入手
- ☐ P&G社員（部署名:　　）から入手
- ☐ イベントで入手（イベント名:　　）
- ☐ その他（　　）

● 本レポートについてどのようにお感じになりましたか？

レイアウトについて

☐ 見やすい　☐ 普通　☐ 見にくい

理解しやすさについて

☐ 理解しやすい　☐ 普通　☐ 理解しにくい

情報量

☐ 多い　☐ 普通　☐ 少ない

● レポートの中で、興味を持たれた項目はどれですか？（複数回答可）

- 最高経営責任者からのごあいさつ ☐ P1
- ビジョン ☐ P2
- 日本の経営責任者からのごあいさつ ☐ P3
- 企業方針・価値観・理念、編集方針 ☐ P4
- P&Gのサステナビリティ ☐ P5−6、☐ P7−8
- 企画・開発 ☐ P9−10、☐ P11−12
- 調達・生産 ☐ P13−14、☐ P15
- 流通 ☐ P16
- 製品使用 ☐ P17−18
- リサイクル ☐ P19
- P&Gの社会貢献 ☐ P20−22
- 環境負荷データ/財務ハイライト ☐ P23−24

● どのような立場でお読みになりましたか？

- ☐ 消費者
- ☐ 当社の事業所の近隣にお住まいの方
- ☐ 取引先（販売流通関係）
- ☐ 取引先（サプライヤー）
- ☐ NPO/NGO
- ☐ 行政関係
- ☐ マスコミ関係
- ☐ 研究関係
- ☐ 株主
- ☐ 金融・投資関係
- ☐ 企業や団体の環境・CSR担当
- ☐ P&Gの社員および家族
- ☐ 学生
- ☐ その他（　　）

● ご意見・ご感想をご自由にお書きください。

● お差し支えない範囲でご記入ください。

お名前　☐ 男性　☐ 女性

ご職業（勤務先・学校名など）　部署

ご住所（☐ご自宅 ☐ 勤務先）
〒

Tel

来年度のレポートの送付を希望されますか？　☐ 希望する　☐ 希望しない

個人情報の取り扱いについて：ご本人の同意の基にお預かりした情報は、本レポートを有意義なものにする・ご希望により資料を送付する・プレゼントを発送するためのみに参照されます。個人情報は、その秘密が保持されるよう弊社にて保管し、ご本人の同意なく外部に交換・売買・共有いたしません。ただし、業務委託のため、業務代行者へ業務遂行に必要最小限の個人情報を開示する場合があります。代行者は弊社の委託内容を超えての情報使用を禁じられており、また情報を適切に保管します。なお、弊社プライバシーポリシーの詳細は弊社のホームページでご覧いただけます。 http://www.pg.com/privacy/japanese/privacy.html

アンケートの送付先

P&G　エクスターナル リレーションズ　サステナビリティ担当　〒658-0032　神戸市東灘区向洋町中1丁目17番地

Fax:078-845-6940

世界における事業展開

ザ・プロクター・アンド・ギャンブル・カンパニー
The Procter & Gamble Company
P&Gは、世界80カ国以上に拠点をおき、180カ国以上の
市場に向けて暮らしをよりよいものにする製品とサービスを
お届けしています。
本社: 米国オハイオ州シンシナティ
取扱分野: 日用消費財の研究開発・製造・販売・輸出入
従業員数: 約13万5千人

日本のP&Gグループ（2006年10月現在）

プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社
プロクター・アンド・ギャンブル・ファー・イースト・インク
ピー・アンド・ジー・ノースイースト・アジア・ピーティーイー・リミテッド
ピー・アンド・ジー株式会社
マックス ファクター株式会社
アイムス・ジャパン株式会社
ウエラジャパン株式会社
ジレットジャパンエルエルシー

Dow Jones Sustainability Indexes

ダウ・ジョーンズ社とSAM社（スイス）は1999年より、経済・社会・環境の3つの点から企業を評価するサステナビリティ・インデックスを発表しています。P&Gは7年連続でセクターリーダー（一般消費財部門）に選ばれました。

暮らし感じる、変えていく P&G

＜表紙のアイコンについて＞

3つのアイコンは、P&Gがサステナビリティ実現に向けて進めている活動や考え方を表しています。

きっと、もっと輝く私。	女性の充実感あふれる、いきいきとした暮らしを応援
サステナビリティ	現在、そして来るべき世代のすべての人々にとって、よりよい暮らしを確かなものに
安全な飲料水（PUR）プログラム	健康な生活に欠かせない"安全な飲料水"を世界の子どもたちへ

サステナビリティ・レポート2006（日本版）

発行責任者　辻本 由起子　　編集者　蒲生 浩子、山本 昭子、市川 恵利
P&G エクスターナル リレーションズ サステナビリティ担当
〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中1丁目17番地
Tel 078-845-5050　Fax 078-845-6940
2006年10月発行

P&Gの全世界でのサステナビリティへの取り組みは、
フルレポート（英語版）をご覧ください。http://www.pg.com/sr
P&Gの全社に関する最新の情報は、http://www.pg.com
日本のP&Gに関する最新の情報は、http://jp.pg.com/
をご覧ください。

©2006 P&G All Rights Reserved.
写真・記事の無断転用を禁じます。

PRINTED WITH SOY INK　R100

本レポートは、古紙含有率100%、白色度87%の再生紙を使用しています。また、印刷には植物性の大豆油インキを使用しています。

200610